



家中の『モノ』を見直すことから始めよう！

収納とは『しまう』ことが目的ではなく『使いやすい状態』にすることです。使いやすい状態にするには『整理』することが、重要な力を握ります。『整理』とは、ムダなモノを取り除いてきちんと整えること。まずは、家中のモノを見直すことから始めてみませんか？

例えば、壁の壊し方・登り方・避け方を自ずと考えられるようになります。

まずは、家の中のモノを見直しましよう。そして、家中のモノを把握しましょう。

●実践編！整理の仕方例

- ① 戸棚の引き出しに入っているモノを、広げた新聞紙の上に全部出してみます。そうすることで、引き出しの中のすべてのモノが把握できます。
- ② よく使っているモノは右、使っていないモノは左に分けます。
- ③ 右側のモノのみ引き出しに戻します。これで整理＆収納は完了！
- ④ 残った左のモノ。使わないのになぜ残っていたのか？これが『見えない壁』の正体です。これさえわかれば、どのように対処すればいいのか考えることができます。

●整理がもたらす効果は？

整理が後まわしになるのは、整理で得られる『利益』が具体的にわからないから。整理することで、次のようなさまざまな効果が得られます。

時間的効果：モノを探す時間が減る。掃除がラクになる。

経済的効果：住宅の中で約10%が収納と言われている。例えば、土地+建物15000万円↓

収納場所の価値は500万円も有効活用で価値をあげよう。

精神的効果：散らかっている部屋は落ち着かない。疲れが取れない。整理されていると精神的にも落ち着き、心の余裕も出る。

また、整理をしたくない理由として『整理』後始末と捉えてしまっていることが挙げられます。日々の生活に追われて乱雑になってしまった部屋を片付けるといふ、後始末的な考え方。ちょっと大げさかもしれませんが、さまざまな効果をもたらす『整理』を『暮らしや人生が変わり始めるきっかけ』と捉えてみてはいかがでしょうか？

収納のポイント！

①適正量を知ろう！

セーターなどの上着は、月曜から金曜まで5枚…などと、まず仮説を立てます。そして、仮説に合わせて生活し、量を増減させましょう。適正量を決めると、自然とその量に合わせた生活スタイルになります。



②行動動線とモノの高さを考えよう！

行動動線を考慮して、よく使うモノからしましましょう。よく使うモノは『ハンディゾーン』と呼ばれるいちばん取り出しやすい場所へしましましょう。



③グループ分けをしよう！

『モノ』で分けるだけでなく『用途』でグループ分けをしましょう。例えば、家計簿、鉛筆、電卓など一緒に使うことの多いモノは、1箇所にまとめて収納します。



お弁当道具はまとめて収納

●どうしてモノが散らかるの？
片付けられない人の多くは『収納』出ているモノを見えない場所にしまいこむ』と考えているようです。無計画に収納すると、どこにしまったのかを忘れてしまい、またもとの乱雑な状態に…。
上手に収納するには、まず、整理することが大切です。整理ができないのは、性格や生まれつき、遺伝などではありません。それは『見えない壁』が妨害しているから。その『見えない壁』の正体がわかってしま



東海ガスが提案する『寝室』収納リフォームプラン

例えば、お子さまが巣立った後、使わなくなってしまう子ども部屋。そのままにして片方を納戸にする方法もありますが、思い切って『寝室+収納スペース』にしてみたらどんなふうになるでしょう。
左図のようなプランなら、その部屋で使うモノはすべてその部屋にしまうことができるので、モノを取りにわざわざ他の部屋まで行ったり『どこの部屋にしまったかしら…？』なんてモノを探してまわることも減りそうです。

③ ロフト

小屋裏部分を利用してロフトを作れば『整理してみたけど、どうしても捨てられない』そんなモノをとりあえず一時的に保管する際にも有効です。何を置いたのか見えやすく、詰め込みすぎないのがポイントです。



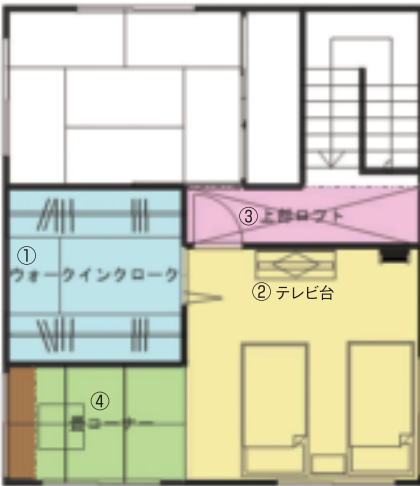
② テレビ台

建材メーカーの収納BOXを使えば、扉とのデザインもばっちり！DVDや取扱説明書など家電まわりで使うモノは、一箇所にまとめておくように決めてしまえば、片づけも簡単になります。



④ 畳

お部屋の一角に気軽に和の空間を作り出す“畳が丘”。今回は書斎や読書コーナーとして、畳コーナーを設けました。畳の下はすべて収納スペースとして活用することも可能。思い出の写真やいただいたお手紙なども、この中に入れておけばすっきり片付きま



after



before

① ウォークインクローク

使わなくなった部屋を改裝し、ウォークインクロークを新設することで、ぐんと収納しやすくなります。ウォークインクロークなら、衣類をかけておくだけでなく、スーツケースなどかさばるものも一緒に保管できます。

また、衣類も夏物と冬物を同じ場所にしまっておけるので、衣替えの必要がなく手間が省けます。どんなモノをどれだけ持っているか、一部屋で確認できるのも便利です。

最近では、それぞれの要望に合わせて棚やパイプ、引き出しなどが自由に取り付けられる収納パーツがあり、人気となっています。



必見！

おすすめアイテム

エコカラット

寝室に『エコカラット』はいかがですか？調湿性の高い『エコカラット』は、結露予防や消臭効果も期待できます。お部屋のアクセントとして一面だけ張るのもおすすめです。



壁面収納

リビングなどの居室に、いろいろなサイズやデザインのタンスやチェストが置かれていませんか？統一性のないものを置くと、お部屋がごちゃごちゃして見えるだけでなく、意外とスペースを無駄にしているもの。そのスペースを使ってクローゼットなどの壁面収納にすれば、お部屋もすっきり。収納量もアップするはず



廊下や玄関には壁の厚みを利用した壁厚収納もおすすめ。スリッパなどの小物を邪魔にならないようにしまふことが可能です。

